

ぶうげんびりあ5月 No.1

2018年 5月号 No.227 <http://www2.synapse.ne.jp/ainohamaen>

編集・発行 障害者支援施設 愛の浜園
奄美市名瀬大字知名瀬2504
TEL:54-8011 FAX:54-8012

奄美では浜下れ(はまおれ)等の行事も終わり、奄美大島にも初夏のシーズンが到来しています。暖房や冷房が必要なく、自然の風が気持ちいいこの時、南国の奄美では一番過ごしやすい時期ではないかと思えます。5月になると今年大河ドラマで放送されている「西郷どん」の奄美編が放送されます、そのオープニングで使われている場所が、愛の浜園の近くにある事を皆さん御存じでしょうか？大和村(やまとそん)国直(くになお)集落にある宮古崎(みやこざき)、通称「ササント」と呼ばれる場所です。この時期は一面に緑が茂り、真っ青な東シナ海が一望できるこの場所、新緑の季節を感じるには最高の場所だと思えます。愛の浜園に立ち寄る際、少し足を伸ばしてはいかがでしょうか？奄美の雄大な自然を感じる事ができると思えます。(副主任:名島)

5月行事予定表

- 1日(火):創立記念日・体重測定・血圧測定
6日(日):面会日・家族総会
14日(月)・15日(火):奄美市婦人科検診
15日(火):ヘルスタイム
17日(木):避難訓練
20日(日)～22日(火)
:県障害者スポーツ大会・旅行
30日(水):健康相談



5月 生まれの皆さん 誕生日おめでとうございます



竹田 美喜子さん



叶 絹代さん



徳 朋裕さん



岩越 隆道さん



野畑 則和さん



隈元 利彦さん

三賞受賞者

(努力賞)

- ・大山 真言さん...新しい生活(グループホーム・生活介護)にも慣れ、落ち着いて楽しく利用できています。
- ・碩 友美さん...婦人科検診を受ける事ができました。
- ・岡山 いずみさん...園での生活にも慣れ、穏やかに過ごしています。
- ・池田 ヨシエさん...体調を整え、美容院を利用する事ができました。
- ・園 初代さん・中田 茂代さん・高 由香さん・平田 広人さん
生野 由子さん・西 順子さん...新しい事業所(就労B型事業)で頑張っています。

(奉仕賞)

- ・宝田 元気さん...支援員と一緒に、洗濯物量みを頑張っています。

旧桃の節句 生活介護

4月19日(木)の旧3月3日桃の節句は良い天気恵まれ、近くの知名瀬(ちなせ)海岸での旧桃の節句行事を行いました。浜辺にテントを張り、生活介護の利用者さん全員が参加しました。心地良い海風に当たりながら砂を踏みしめ、砂浜での潮干狩りや宝探し等の、ゲームなどを時間一杯楽しみました。今回は、女性利用者さんから潮干狩りの希望があり、皆さんが潮干狩りを体験できるように、特設の場を係の方が準備してくれました。収穫用のナイロン袋も用意され、採ったあさを次々に袋に入れる利用者さん達。車椅子の利用者さんとも一緒に経験することができて大変喜んでいました。採った貝は、調理場の職員の元へ集められ、すぐに調理され海辺で海の幸を味わうことができ、大変おいしかったです。前日に、職員が採ってきた、スズメ貝、シャコ貝、トビニヤ(マガキ貝)、タカセ貝も特設の場所に飾られ、利用者さんも珍しそうに見ていました。利用者さん達の沢山の笑顔と、海風に吹かれながら自然の中での昼食は、一味違うように感じられました。(記事:旦)



奄美では、旧桃の節句に皆で浜に下り、豊作祈願を願う浜下れ(はまおれ)があります。初節句を迎える赤ちゃんの足を海に付けると、海で事故に遭うこともなく、無病息災のご利益があると言われてます...

愛の浜園ジャンベ隊

昨年度から取り組み始めた愛の浜園ジャンベ。昨年は、講師を招いての活動でしたが、今年度は、講師(武田 まゆみさん)のご都合もあり、園独自での取り組みが多くなります。早速、先月10日に単独活動1回目がありました。うまく進められるか不安もありましたが、職員が一丸となってサポートしてくれたことで、進行もスムーズにでき、何よりも利用者の皆さんが楽しんでくれたことがとても嬉しく、「よし、いける！」と心の中でガッツポーズをしました。そこで、今年度の「愛の浜園ジャンベ隊」の目標は、本当に楽しんでいる利用者さんのジャンベ演奏を、多くの方々に披露し、そして、見てくださる皆さんにも楽しんでいただけるような演奏ができたかなと思っています。いろんな行事で披露できるよう、楽しみながら練習をしていますので、御覧いただける際は、是非一緒にリズムを取って歌い、体を動かしていただければと思います。今後とも、愛の浜園ジャンベ隊をよろしくお願いいたします。(記事:荒田)



旧桃の節句 就労B型



4月19日(木)。1日遅れの旧桃の節句の行事を行いました。就労B型の利用者さんは、宇検村(うけんそん)への浜下れを計画しました。今回は、フレンド4の新設に伴い、メンバーも増え、職員も含め総勢26名になりました。初めて参加される利用者さんもあり、とても楽しみにしていたようです。道中、トイレタイムなども設け、1時間30分ほどで、目的地へ到着。少し早目のお弁当を頂き、女性利用者さんは潮干狩り、男性利用者さんは魚釣り。さてさて、結果は？「2兎を追うものは1兎も得ず」と言いますが残念な結果になりました。貝も採れず、魚も釣れず。唯一の収穫は、女性利用者さんが摘んだ「アオサ」。そして、小さなトラギスの仲間が一匹。釣り上げた利用者さんは「可哀想だから」と言ってリリースしました。浜辺に咲いていた百合の花を、世話人さんへ持って帰るという優しい利用者さんも。収穫は少なくとも、それ以上に心優しいうれしい場面に立ち会えました。後日、聞いた話ではGHで、アオサの天ぷらを作り、皆さんでおいしく頂いたようです。(記事:屋久)

利用者さんの夢を叶える ～パーマをかけたい～

愛の浜園の創立当時から入所している池田 ヨシエさんが、入院や高齢による体調不良などで楽しみだった美容院から遠ざかって2年ほど経ちました。耳も聞こえづらくなり、話す言葉も少なくなりました。昨年11月に体調の安定を機に補聴器を作りました。すると、会話も多くなり、生き生きしておられるように見えました。そのような中いつもの様に訪問での散髪をしようとした時、ご自分から「名瀬」「パーマ」と言って散髪をお断りになりました。そこで、気候や体調面で条件が整った時に実現出来たら...と、職員間で話し合いをもち、美容室と連携して4月24日によりやく実現しました。本人の希望は「パーマ」でしたが、約2年



ぶりだったもので、まずは「カット+シャンプー+ヘアのセット」が出来たかをスタッフの方々と相談しながら試してみました。首を振ってスタッフさんがカットしにくそうな場面もありましたが、それでもシャンプー台には移乗でき、髪を巻いた時は気に入っていたようでした。今回はパーマに挑戦できそうです！それに、コテでカールする事でとても綺麗にセットできたので「これは園でも出来そうだ！」と言う収穫もありました。他にやりたい事を聞くと「パン」とのことだったので「夢来夢来(むくむく)」(障害福祉サービス事業所)へ。クリーム入りクロワッサンを美味しそうに食べていました。「やりたいことを、一つでも叶える。」そんな利用者さんのお手伝いできたことを嬉しく思うとともに、細やかな配慮をして頂いた美容院の方々のご協力に深く感謝いたします。(記事:牧口)



相談支援事業所（ていだ）



約9ヶ月産休、育休を頂き、4月から仕事復帰

致しました。利用者の皆さん、職員の皆さん、相談支援事業所「ていだ」として関わる他事業所の皆さんに「おかえり」と温かく迎えて頂き、愛の浜園の一員として仕事ができている事にとても幸せを感じています。娘が初めて熱を出した時、不安で寝むれない夜を何日も過ごしました。娘が初めて笑った時、寝返りが出来た時、喜びで胸がいっぱいになりました。誰かを想う時、向き合って同じ時間を過ごす時、自分の事のように嬉しくなったり、悲しくなったりする事を改めて実感し、今までの私の支援はどうだったのか？と考えるようになりました。4月から仕事に復帰し、慌ただしい毎日です。正直、1年のブランクは大きく、頭が付いて行かない事もたくさんあります。しかし、今まで以上に利用者さん一人ひとりに向き合い、時間を掛けてニーズに応えていきたいという気持ちが強くなりました。まだまだ母としても、相談員としても未熟な私ですが、娘の事で苦しんだり、喜んだりする事と同じように、利用者さんやご家族の気持ちに寄り添えるような相談員になれるように取り組んでいきたいと考えています。（記事：富田）



永年勤続表彰



鹿児島県知的障害者福祉協会より永年勤続者として、愛の浜園から、小元 健二郎さん、太倉 真由美さんが会長表彰されました。この表彰は県下の福祉施設に13年以上の勤務をし、福祉事業に多大な貢献をした人に贈られます。4月19日（木）に鹿児島サンロイヤルホテルで行われた同協会の定例総会において、小元さんが代表表彰を受け、賞状と記念品を授与されています。小元さんは、現在、就労継続支援 B 型事業のサービス管理責任者として利用者の生活向上のために尽力されています。小元さんの在職期間は30年と現在の園の中で3番目に長く、歴史ある愛の浜園の先輩たちの教えを後輩達に引き継ぐ役割も担って頂いています。また太倉さんは、臨時の支援員として愛の浜園での職歴を開始し、正規採用以来21年間に事務職で全うされました。今日の愛の浜園の事務仕事の礎を築いただけでなく、事務員として3名の園長に仕え、その間奄美の福祉施設として大きな発展をげた愛の浜園の経営の屋台骨を支えて下さいました。2月で事務職を退職された太倉さんですが、現在はグループホーム・フレンドにて支援員として勤務して下さいます。小元さん、太倉さん、本当におめでとうございます。（記事：内野）



4月の愛の浜園



ヘルスタイム（軽体操）



旧桃の節句（浜下れ）

